

# 出血したときの応急手当(動画)のポイント

## ① オープニング

## ② 直接圧迫止血法について

出血している場合、その部分を直接圧迫する「直接圧迫止血法」を行います。

## ③ 実施方法

きれいなハンカチやガーゼを傷口に当て、その上を手で圧迫します。直接圧迫止血法では、出血部を確実に押さえ、動かさないことが重要です。片手で圧迫しても止血しない場合は、両手で体重を乗せながら圧迫します。

## ④ 気をつけるポイント その1

圧迫部がずれていると止血ができない為、出血している位置を圧迫します。

## ⑤ 気をつけるポイント その2

圧迫する力が足りないとガーゼなどが血液で濡れてきます。ガーゼが濡れてきたら、新しいものに交換しましょう。

## ⑥ 感染防止について

応急手当として止血を行う場合には、感染防止も重要です。感染の多くは血液を介する為、ゴム製またはビニール製の手袋、あるいはその代用としてビニール袋などを使用し、傷病者の血液が直接自分の皮膚に付かないように気をつけてください。

## ⑦ 最後に

大量に出血している場合や、出血が止まらない場合には直ちに119番通報してください。

## ⑧ 問い合わせ

ご不明な点がありましたら、お近くの消防署までお問い合わせください。

## ⑨ エンディング